

KACHŌGA
Japanese Art & the Natural World
Tessa Bunn

日本美術と生きものたち

11

2025 10/11_土 → 11/24_{月祝}

【主催】The 花鳥画展実行委員会(鳥取県、鳥取県立美術館 パートナース、TSKさんいん中央テレビ)

三三三

鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

<https://tottori-moa.jp/>



長沢芦雪《牛図》鉄斎堂



伊藤若冲《花鳥図押絵貼屏風》鳥取県立美術館

なぜ人は、いきもののくに惹かれるのでしょうか。アートの歴史は、動物や植物の形を象ることに始まります。やがて中国で「花鳥画」という絵画ジャンルが生まれ、日本ではこの言葉が動植物全般を主題とする絵画・工芸作品の総称として使われるようになりました。とりわけ江戸時代には、文学、思想、博物学や民間信仰など、様々な人々の営みと絡み合い、時に西洋文化の影響を受けながら、まことに多種多様な花鳥画作品が生み出されるに至ります。それらは、当時の人々がいきものたちとどのようにかわり、向き合っていたかを現代を生きる我々に教えてくれるのです。本展覧会では江戸時代を中心とした多彩な花鳥画作品を一堂に展示し、日本美術における動植物を主題とするアートの諸相とその魅力についてご紹介します。



日本美術といきものたち



中村芳中《鹿図》
摘水軒記念文化振興財団



谷文晁《駱駝図》
摘水軒記念文化振興財団



岡部洞水《魚族図》長崎歴史文化博物館



春木南溪《虫合戦図》神戸市立博物館

関連イベント

特別講演会

特別講演会Ⅰ

講師：タイム・スクリーチ氏（国際日本文化研究センター教授）
日時：10月19日（日）17:30～19:10
会場：1Fひろま 定員：150名（事前申込制）

特別講演会Ⅱ

講師：金子信久氏（府中市美術館学芸員）
日時：11月24日（月・祝）14:00～15:30
会場：1Fホール 定員：60名（事前申込制）

スペシャルトーク

「自然科学の目で花鳥画を読み解くと」(仮題)

講師：一澤圭（鳥取県立博物館主幹学芸員）
鶴智之（鳥取県立博物館学芸員）
山田修平（当館学芸員）
日時：10月26日（日）13:30～15:30
会場：1Fホール、企画展示室
料金：要観覧料 定員：50名（事前申込制）

落語イベント

「落語×花鳥画

一日限定！錦秋TMOA寄席(仮題)」

【午前の部】10:30～11:45
「動物園」桂小文吾／「ねずみ」桂福枝
アフタートーク

【午後の部】14:00～15:15
「狸のさいころ」桂福枝／「抜け雀」桂小文吾
アフタートーク

出演：桂福枝、桂小文吾
日時：11月2日（日）
会場：1Fスタジオ2・3
料金：有料
定員：80名

ギャラリートーク

美術館学芸員が本展出品作の中からイチオシの作品についてお話しします。
【前期】①10月11日（土）②11月1日（土）
【後期】①11月15日（土）②11月22日（土）
各14:00～15:00



■交通アクセス 【鉄道・バスの場合】JR倉吉駅よりバスで約10分、県立美術館前下車 【倉吉駅まで】●鳥取砂丘コナシ空港からバスで約45分 ●米子鬼太郎空港からJR特急等で約1時間10分 ●大阪駅からJR特急で約3時間 ●岡山駅からJR特急で約2時間40分 【車の場合】●岡山・広島方面：米子道湯原ICから約50分 ●大阪方面：中国自動車道淀川ICから約1時間 ※駐車場あり(110台)

ONLINE TICKET オンラインチケット



8月11日（月）～10月10日（金）：前売り料金
10月11日（土）～会期中：通常料金
※窓口での当日券販売もございます
オンラインチケット（ArtSticker）



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

公式WEBサイト



〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12 tel.0858-24-5442

<https://tottori-moa.jp/>